

第11回動物細胞工学シンポジウムのお知らせ

「動物細胞を利用したバイオ医薬品製造の現状と課題」

“生産プロセス、上流から下流まで”

日時：平成15年11月20日（木）午後1時半より

場所：東京工業大学百年記念会館

オーガナイザー： 津村治彦（キリンビール）
平島 親（中外製薬）

企画のねらい：従来のJAACTシンポジウムでは生産細胞・細胞培養・培養のスケールアップに関する課題が多かったが、最近のシンポジウムでは医薬品を作る上での規制、申請作業等、細胞にかかわる技術だけでは収まらない企画も多くなっており、企業の中ではプロセス開発等で括られている範疇の業務と関わっている。演題を広くとることにより、細胞あるいは培養の技術者だけではなく、精製、設備設計技術者も参加でき、より幅が広がるとともに、バイオ医薬品開発に関わる諸問題が俯瞰できるような企画を目指す。

参加費 JAACT会員：無料（非会員の参加費については世話人にお問い合わせ下さい）

懇親会費： 3,000円

プログラム

	Opening Remark	
13:35~ 14:20	効率的なバイオ医薬品精製プロセス開発 ～ケーススタディー：ヒトモノクローナル抗体～ 石原 尚 （キリンビール（株））	"Efficient Purification Process Development of Biologics" ～ Case Study: Human Recombinant Antibody ~ Takashi Ishihara (KIRIN Brewery Co, Ltd.)
	"Metabolic analysis of animal cell processes for biomanufacturing"	"Metabolic Analysis of Animal Cell Processes for Biomanufacturing"

14:20~15:10	David Mousdale (beocarta Ltd. and beocarta Reomega, Inc.)	David Mousdale (beocarta Ltd. and beocarta Reomega, Inc.)
15:15~15:30	コーヒープレイク	Break
15:30~16:15	Rational Scale-Up of Mammalian Cell Culture 村上 聖 ((株) 日立製作所)	Rational Scale-Up of Mammalian Cell Culture" Sei Murakami (Hitachi, Ltd.)
16:15~16:55	抗体生産培養法開発の実例紹介 平島 親 (中外製薬 (株))	"A Case Study: Culture Process Development of Therapeutic Monoclonal Antibody Production" Chikashi Hirashima (Chugai Pharmaceutical Co., Ltd)
	Closing remark	
17:00~19:00	懇親会	Networking Reception

多数のご参加をお待ちしております。

本シンポジウムに関する問い合わせ先：

津村 治彦

〒370-0013 高崎市萩原町100-1
キリンビール (株) 医薬生産本部

Tel: 027-353-7357; Fax: 027-353-7400

E-mail: htsumura@kirin.co.jp

[戻る](#)